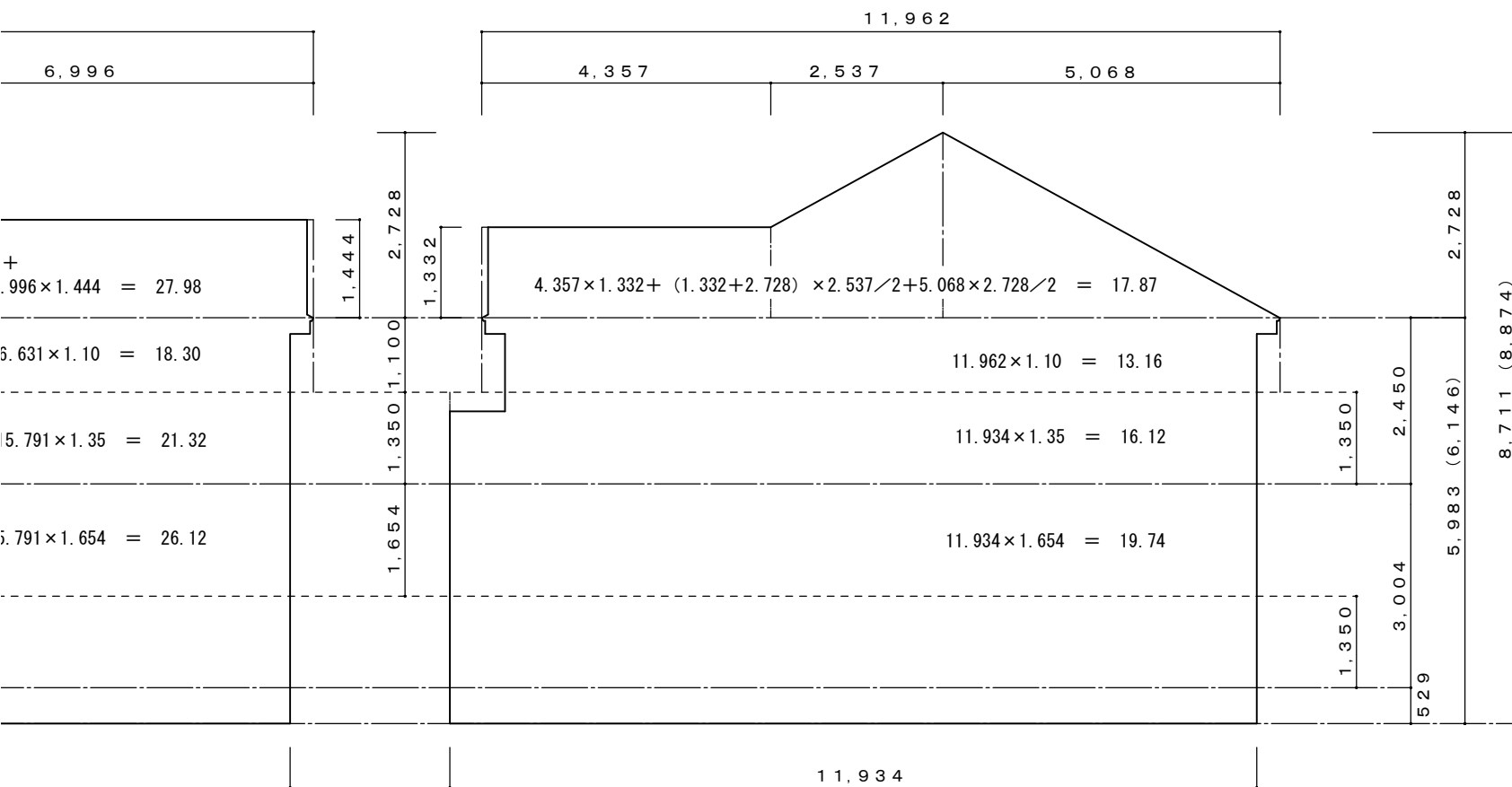


2階耐力壁配置図



X方向見付面積

耐力壁区画

設計壁量計算表

		X方向			Y方向		
		壁量 (cm)	壁倍率	有効壁量 (cm)	壁量 (cm)	壁倍率	有効壁量 (cm)
2階	構造用合板ア12.5+石膏ボードア12.5	1838	4.5	8271	1549	4.5	6970
	石膏ボードア12.5 両面	677	3.0	2031	960	3.0	2880
	合計			(2X) 10302			(2Y) 9850
1階	構造用合板ア12.5+石膏ボードア12.5	1487	4.5	6691	1603	4.5	7213
	構造用合板ア9.5+石膏ボードア12.5	129	4.5	580			
	石膏ボードア12.5 両面	543	3.0	1629	671	3.0	2013
	合計			(1X) 8900			(1Y) 9226

必要壁量算定表

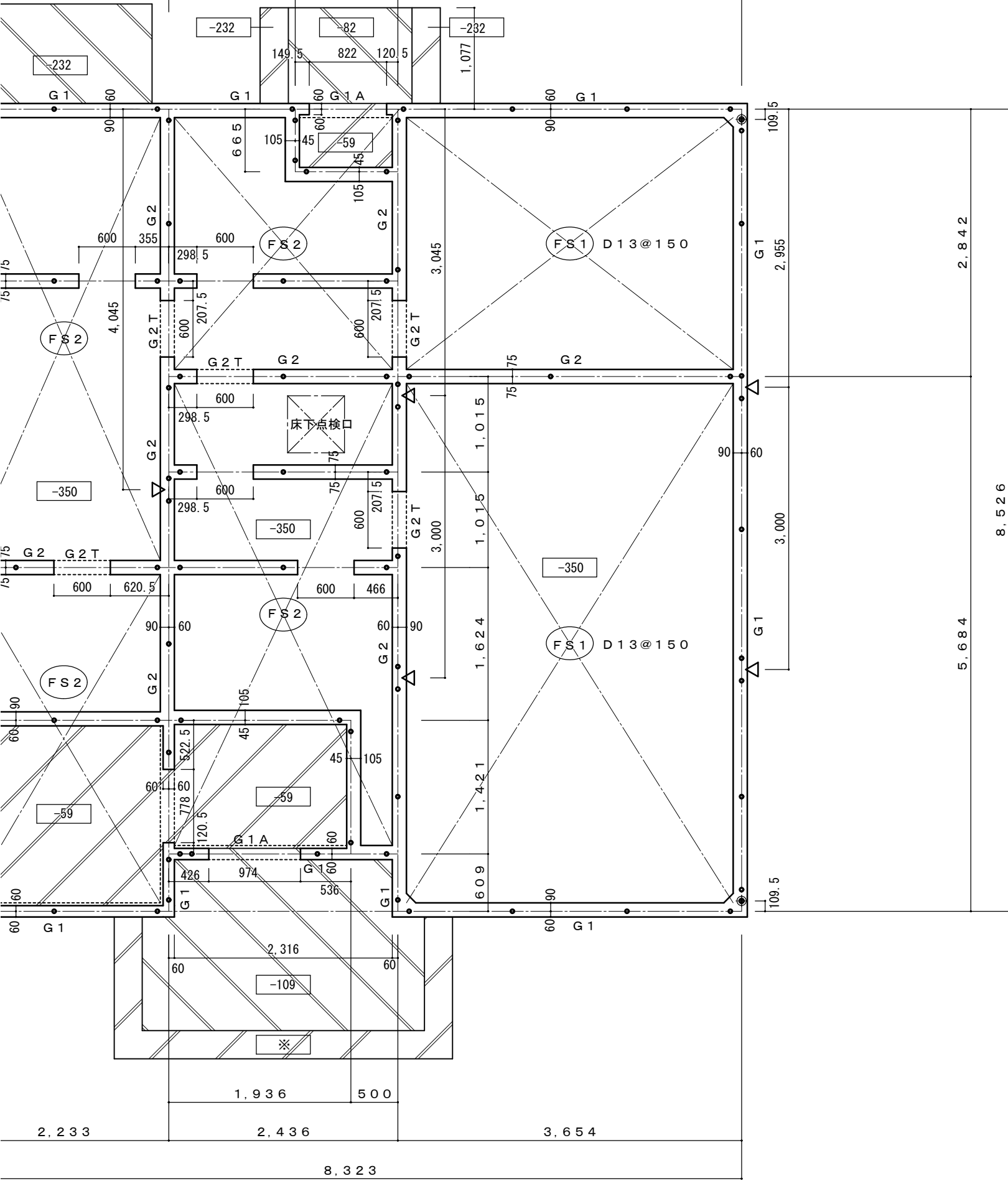
		床面積による必要壁量			見付け面積による必要壁量			必要壁量 (cm)	有効壁量 (cm)
		床面積 (㎡)	係数	耐力壁長さ (cm)	見付面積 (㎡)	係数	耐力壁長さ (cm)		
2階	X方向	119.55	21	2511	31.03	50	1552	2511	< (2X) 10302
	Y方向				46.28	50	2314		
1階	X方向	134.95	33	4454	66.89	50	3345	4454	< (1X) 8900
	Y方向				93.72	50	4686		

主要部材表

種別	主要使用箇所		寸法形式 (呼び名)				樹種	材料の規格	
			204	206	208	404			
枠組み材	土台		204	206	208	404	Ham-Fir	甲種 2級	
	床	床根太	404	206	208	210	SPF	甲種枠組み材 2級	
		端根太							
	側根太								
耐力壁	上枠	204	206	208		404	SPF	甲種枠組み材 2級	
	下枠								
小屋	縦枠								
	垂木	204	206	208	210	212	SPF	甲種枠組み材 2級	
合板等	天井根太								
	1階床	構造用合板	厚さ 18.5mm					1類 2級	
	2階床	構造用合板	厚さ 18.5mm					1類 2級	
	屋根	構造用合板	厚さ 12.5mm					特類 2級	
耐力壁	構造用合板		厚さ 12.5mm					特類 2級	
	石膏ボード		厚さ 12.5mm					JIS A-6901	

部材別最大支持スパン、ピッチ表

部材	最大支持スパン	間隔 (ピッチ)
1階床根太	90 cm	61.0 cm
2階床根太	446.6 cm	40.6 cm
天井根太	466.9 cm	40.6 cm
垂木	456.8 cm	40.6 cm
縦枠	263.6 cm	40.6 cm



構造仕様

地盤 (根切り底)
 現況地耐力 長期地耐力 $F_c \geq 30.0 \text{ KN/m}^2$ 以上として設計

基礎 鉄筋 SD 295A
 コンクリート設計基準強度: $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
 スランプ15

凡例

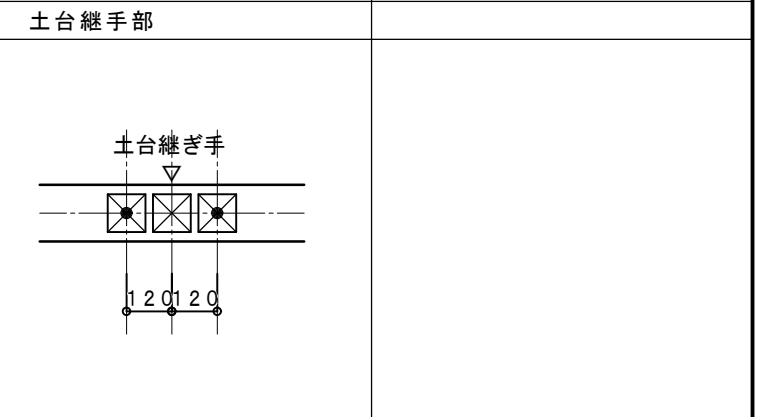
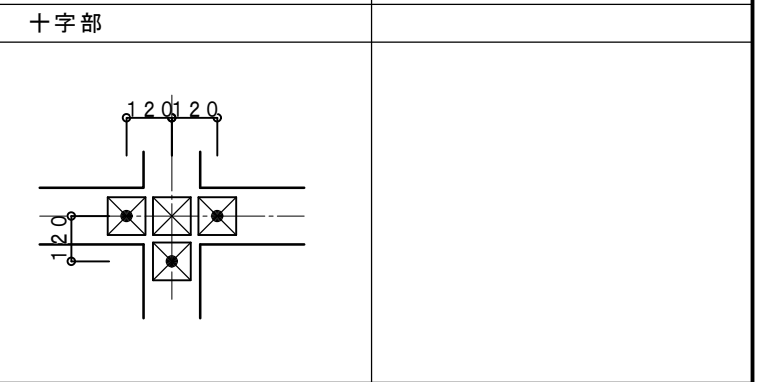
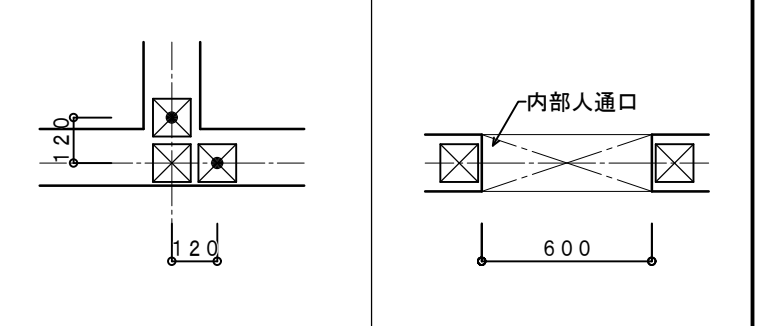
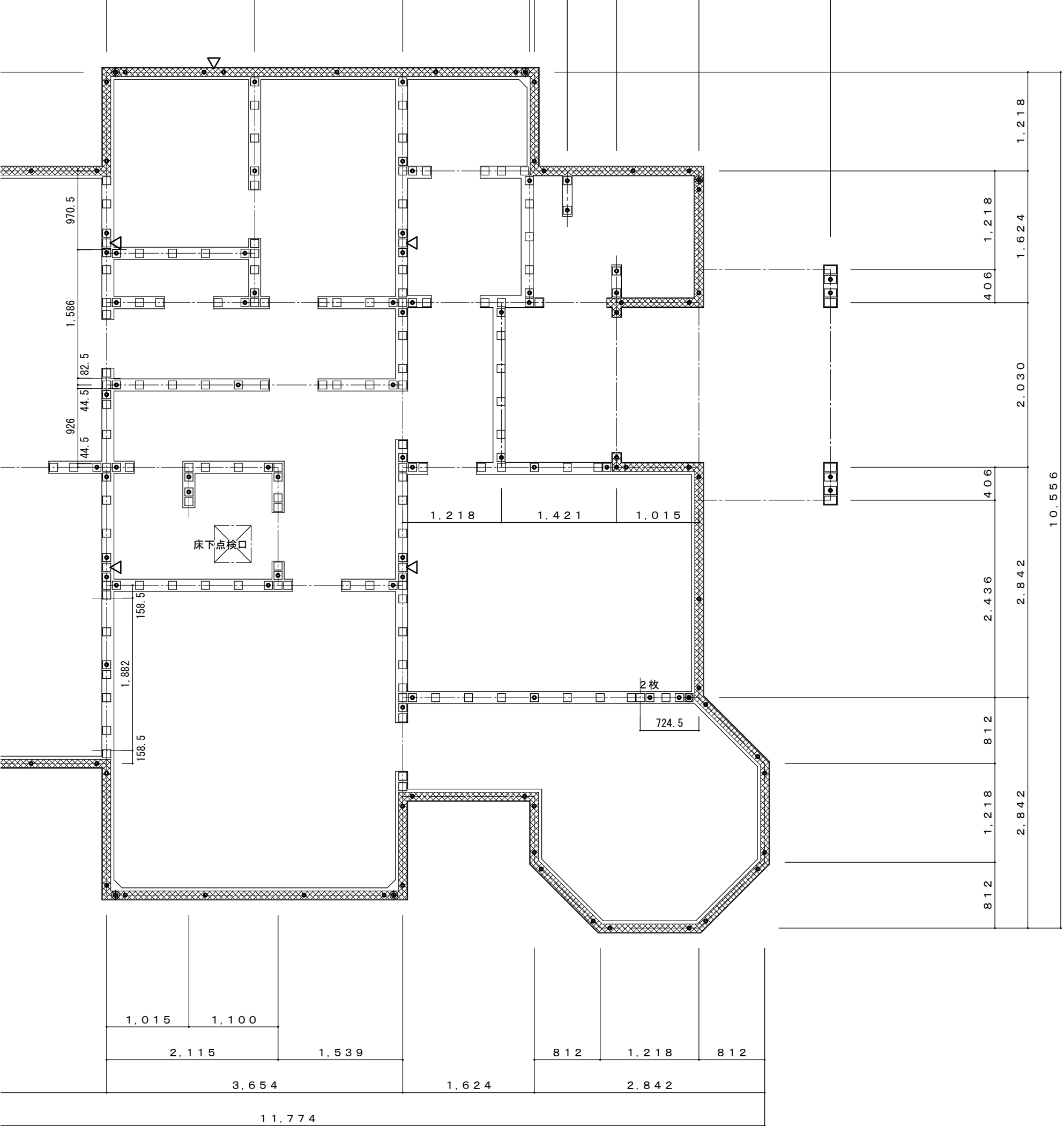
	床下人通口 (600 x 350)
	アンカーボルト M-12 @2,000以下 定着長さ250mm以上
	ホールダウン金物 M-16 (4ヶ所) 定着長さ360mm以上
	土台ジョイント
	土間コンレベル (基礎天端より)
	土間コンクリート厚120

備考

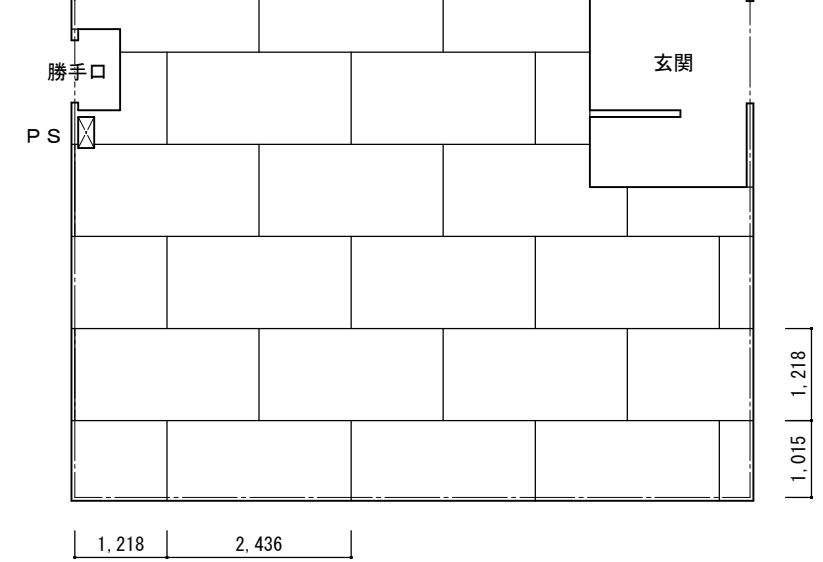
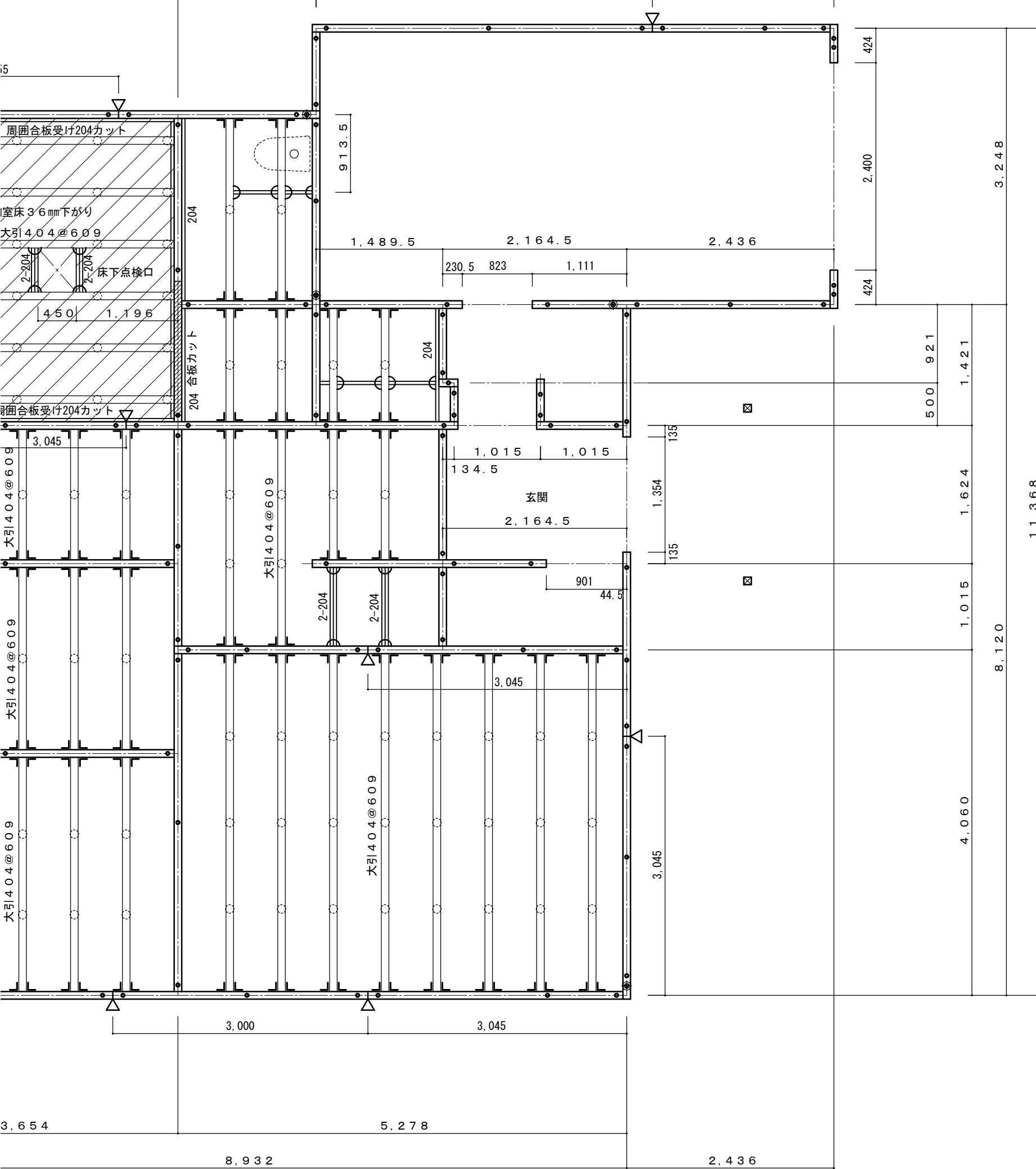
工事名称

NO

G 1	外周基礎梁（一般）	G 1 A	外周基礎梁（勝手口）	G 1 B	外周基礎梁（立上りカット）
G 2	内部基礎梁（耐力壁）	G 3	（一般）		
G 2 T	内部基礎梁（人通口）	半島部分詳細図			

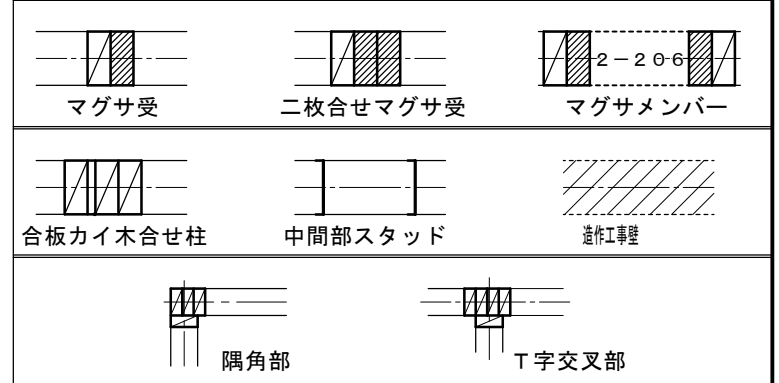
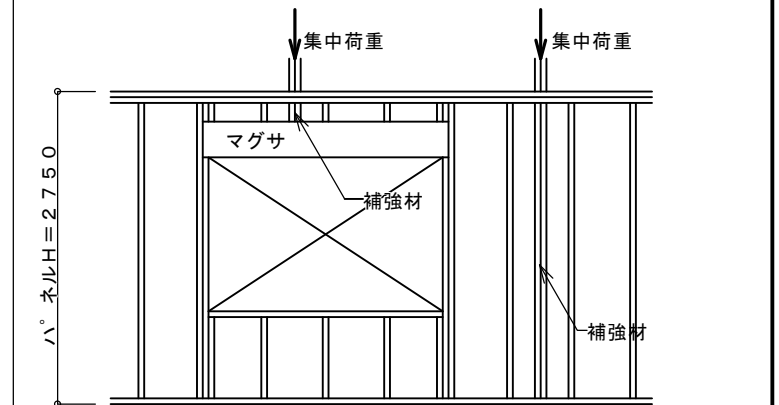
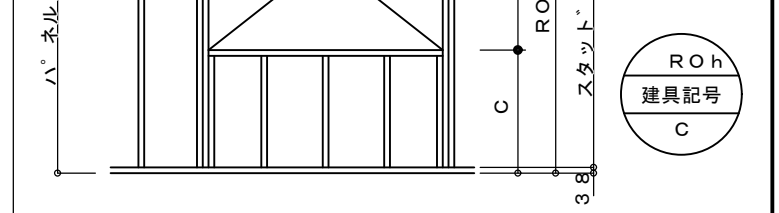
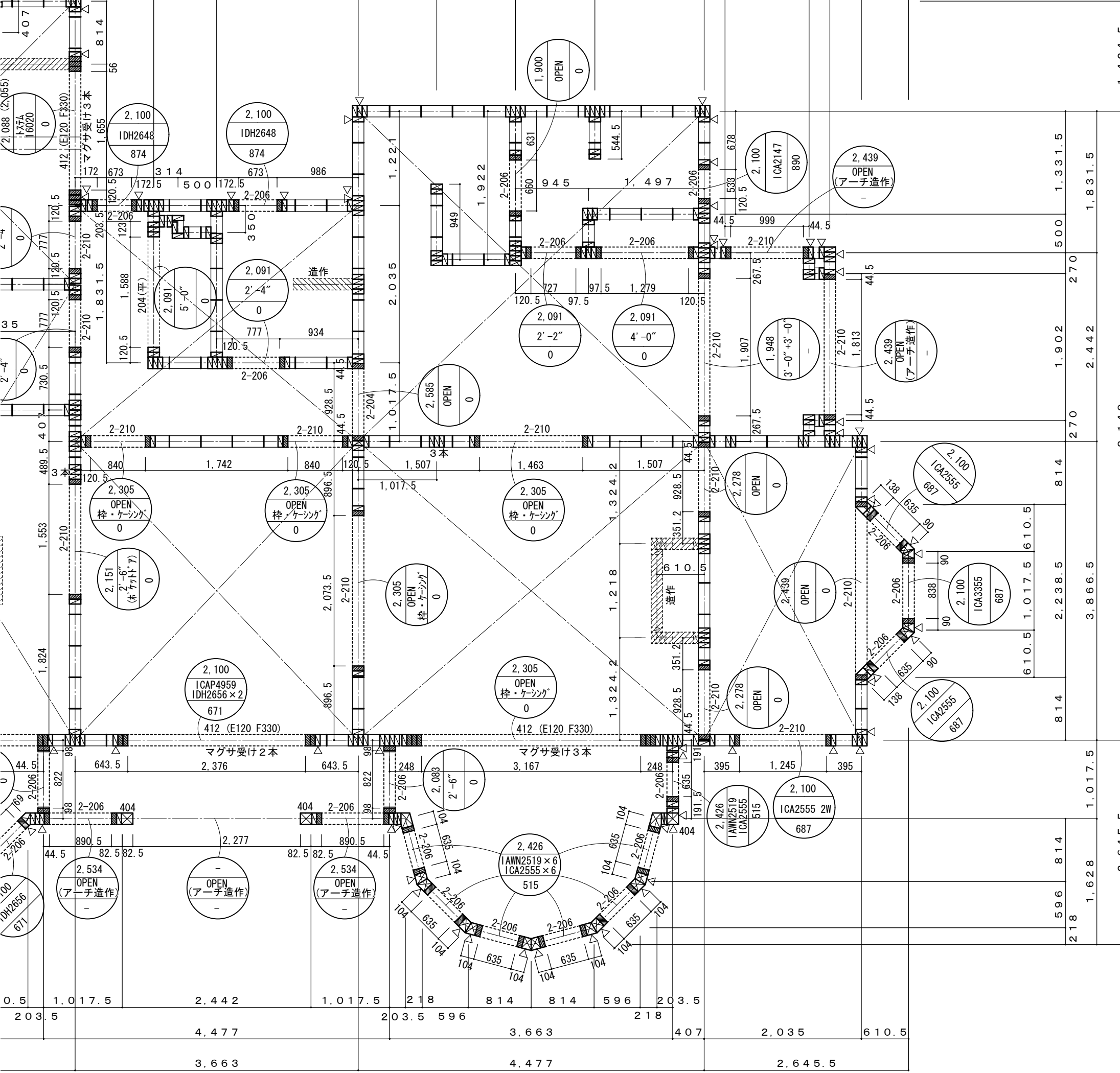


	土台継手
	気密パッキンロング (KPK-102) 102×910×20mm
	キソパッキン (KP-A10)
	キソパッキン (KP-A15)
基礎パッキン相互間隔500mm以内(406mmモジュール上)に配置する。	
集中荷重を受けるスタッド(スタッド3本以上は2枚)下部	
城東テクノ 基礎パッキン施工基準により施工	



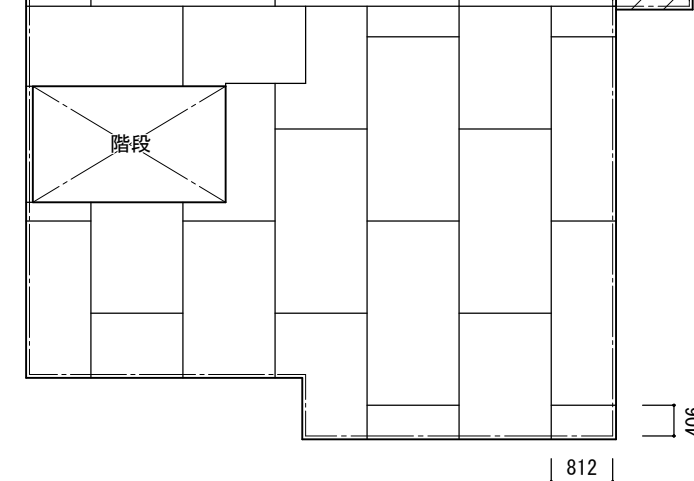
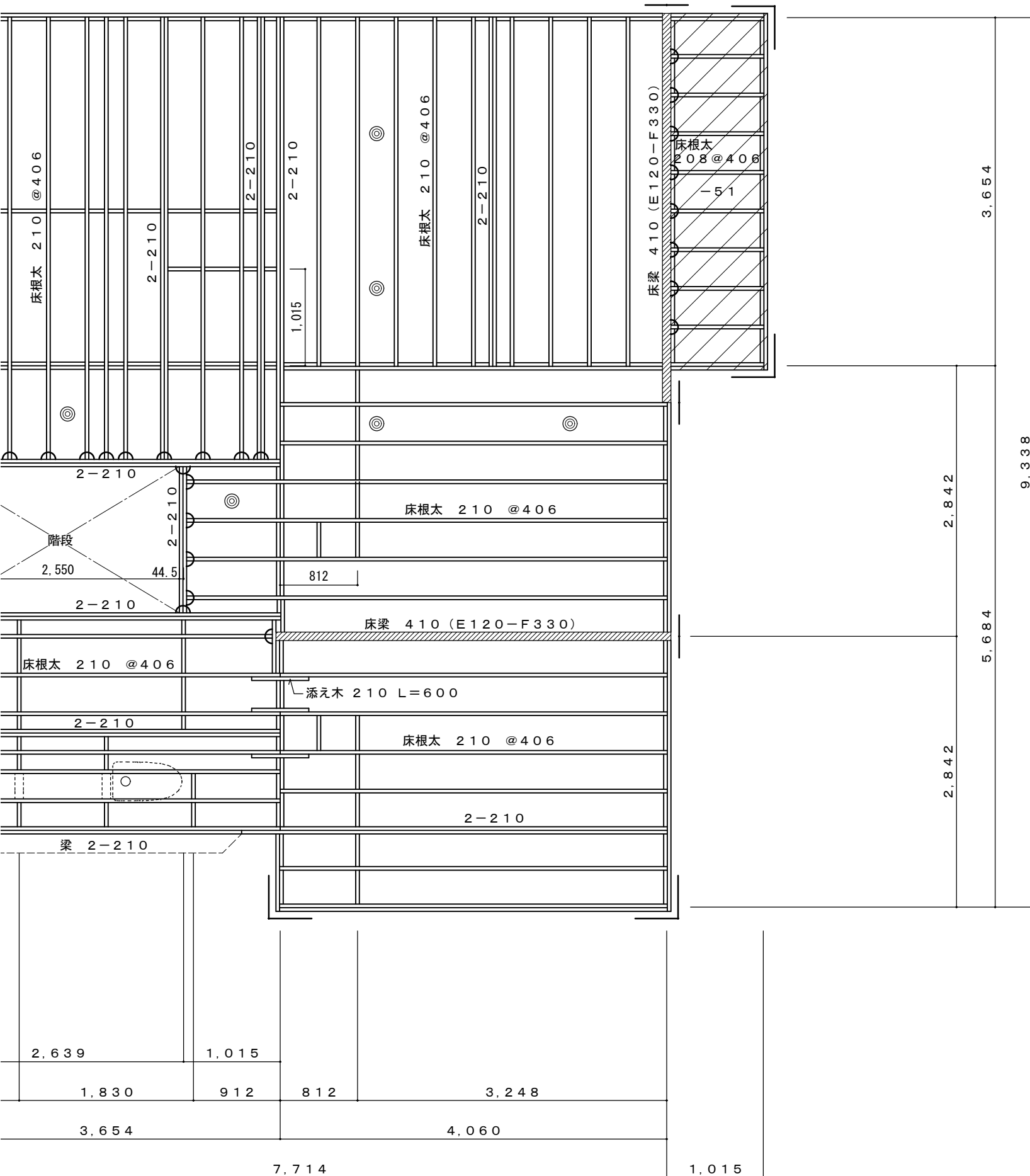
1階
合板割付図 1/100

土台伏図	
特記なき限り下記による	
樹種	
製材 S.P.F.2級	
甲種梓組材 針葉樹Ⅱ材	
構造用合板t=18.5 さね付	
釘打 周辺部 CN65@150	
中間部 CN65@200	
接着剤併用	
	土台404 防腐防蟻処理材
	大引404 防腐防蟻処理材
	継手位置
金物	
	アンカーボルト
	ホールダウン金物
	JH-S両面
	JH204 根太受
	JH2-204 根太受
	鋼製束



1. 外壁構造用合板2級 (ア) 12.0とする。
2. 集成材は特記なき限りE120-F330以上を使用する。
3. 甲種枠組材SPF2級 (製材) を使用する。

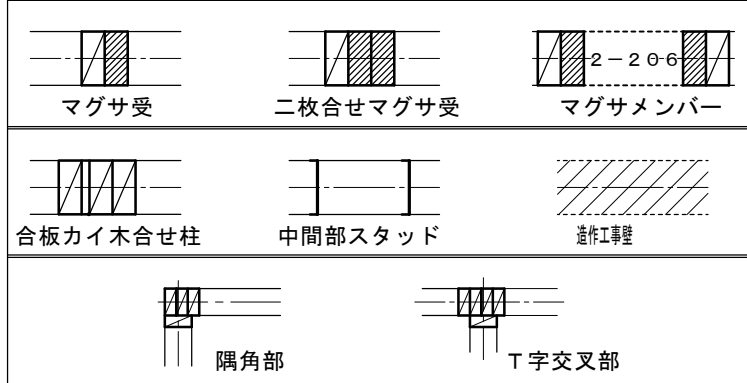
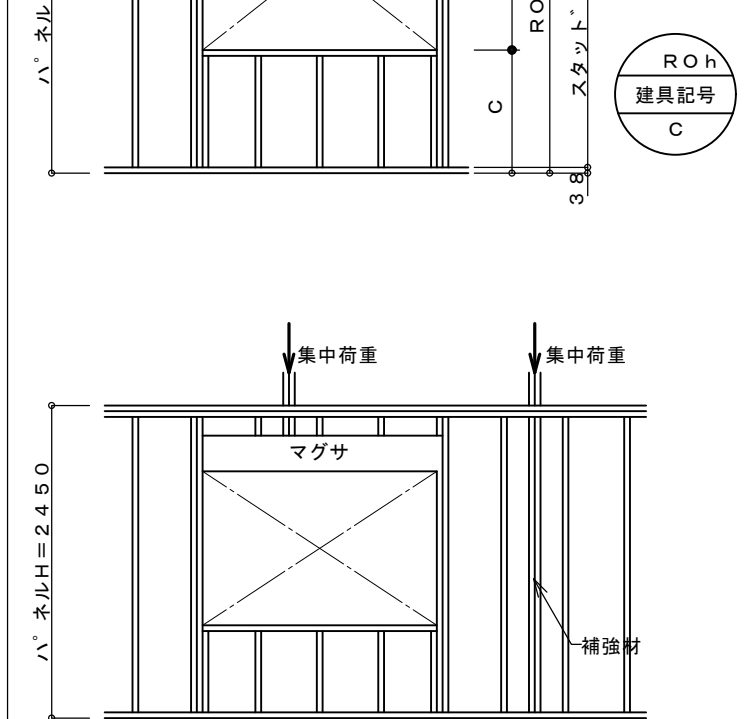
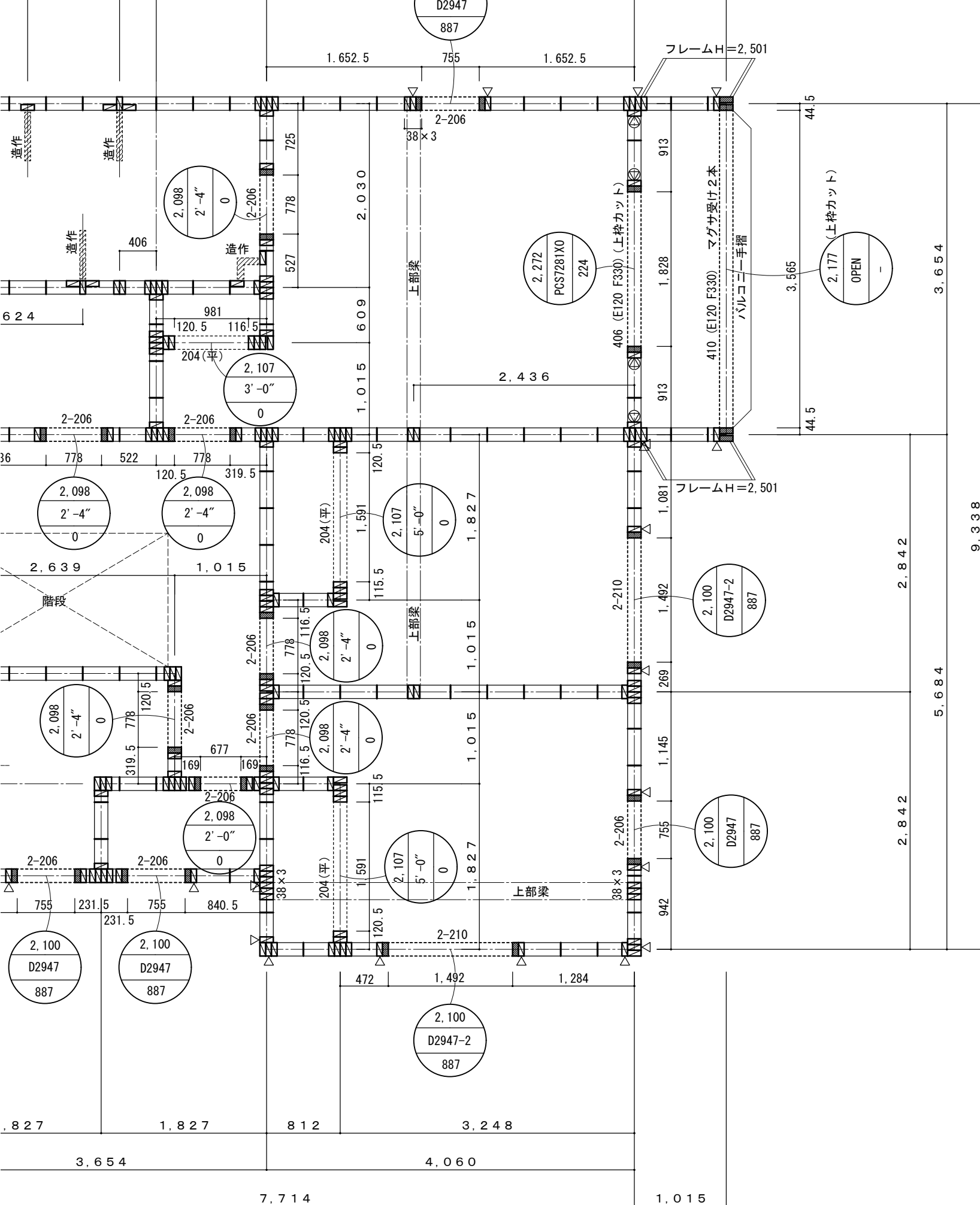
金物	
	かど金物 CP-TまたはCP-L
	ツーバイホールド TH-18
	ツーバイコーナー TC-11 (かど金物施工不可の場合)



2階
合板割付図 1/100

床 伏 図		
特記なき限り下記による		
樹種		
製材 S.P.F		
KD材 Jグレード 甲種2級		
集成材 E120-F330		
構造用合板 t=18.5 さね付		
釘打 周辺部 CN65@150		
中間部 CN65@200		
接着剤併用		
	床根太 210@406	
	ダウンライト	
	排水立上り位置	
	ころび止め (平使い)	
金 物		
	S-90×2	
	S-45×2	側根太・上枠・頭つなぎの継ぎ補強
	JH210	JH208 根太受
	BH2-210	梁受

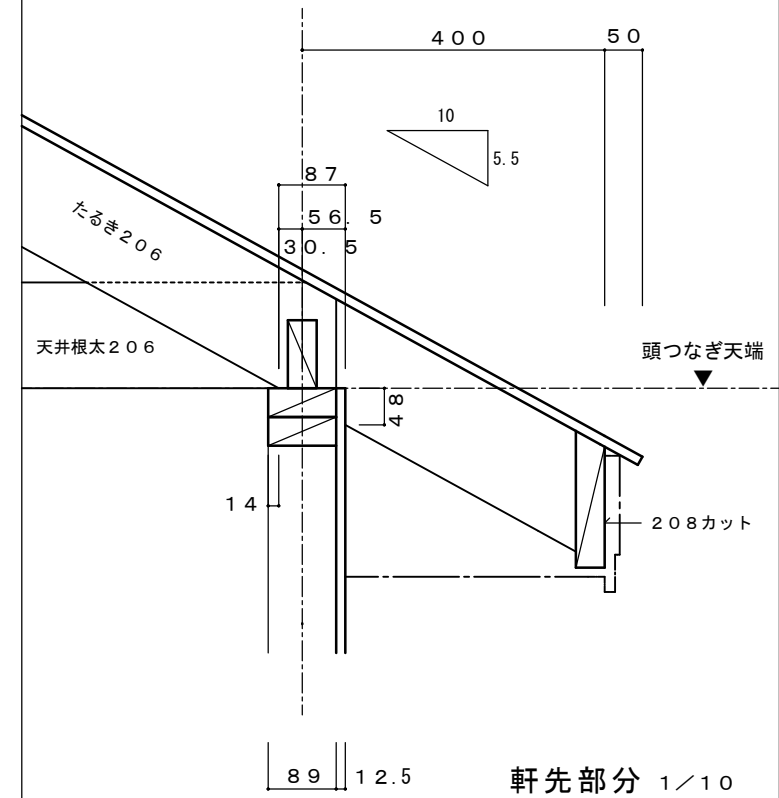
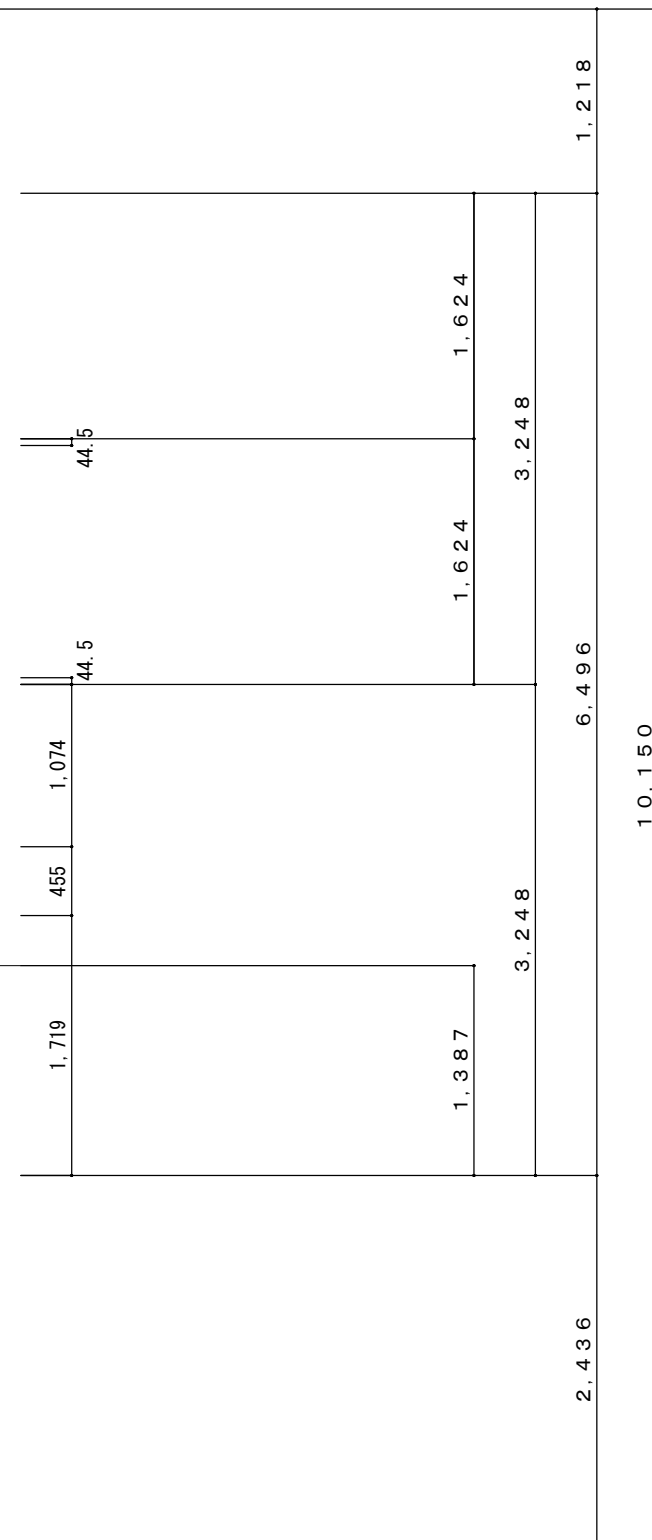
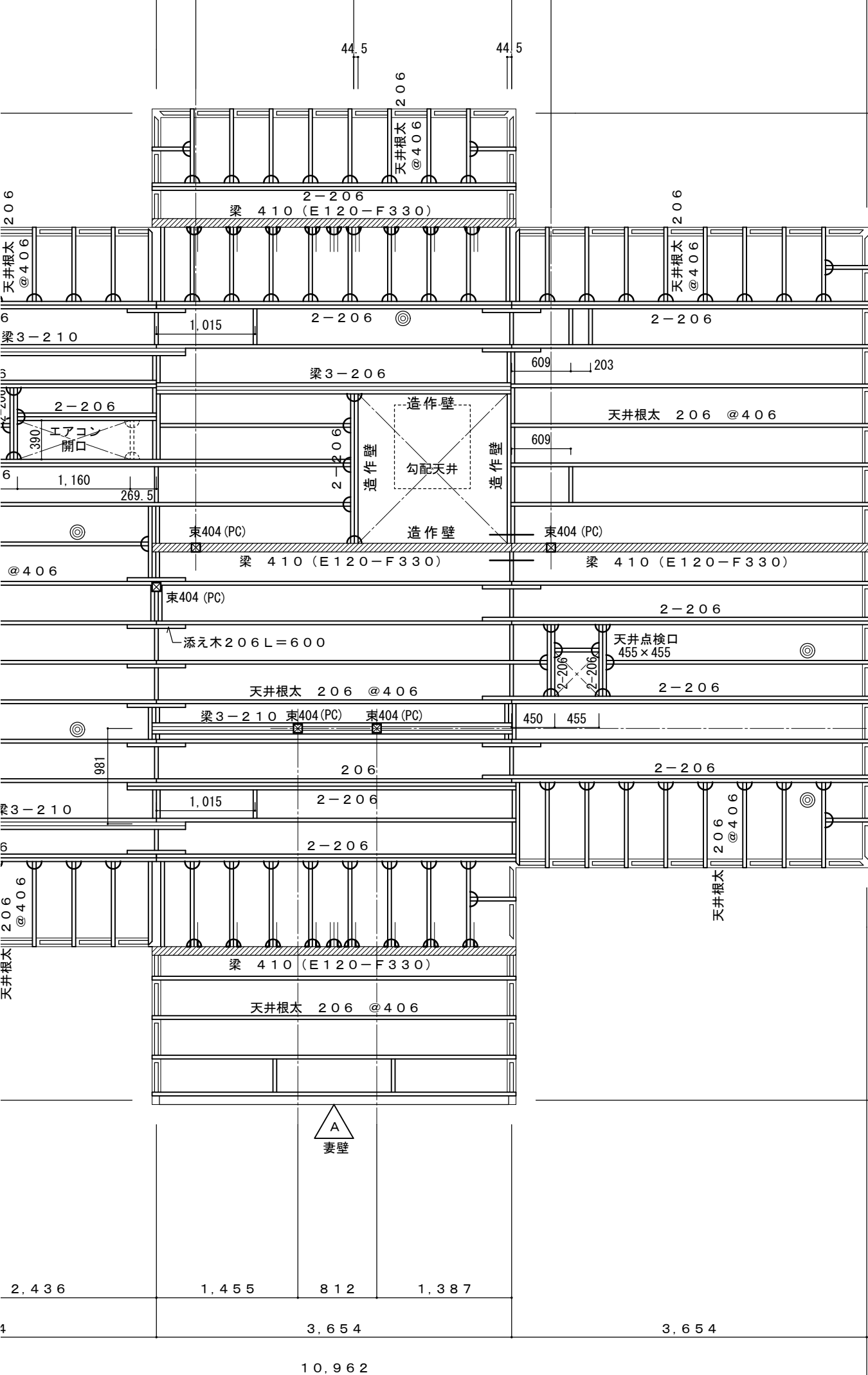
※ 特記なき仕様及び緊結方法 (釘打ち方法) は、告示第1540号 (枠組壁工法技術基準) による。



1. 外壁構造用合板2級 (ア) 12.5とする。
2. 集成材は特記なき限りE120-F330以上を使用する。
3. 甲種枠組材SPF2級 (製材) を使用する。

金物	
▷	帯金物 S-65
⊗	ツーバイコーナー TC-11 (帯金物施工不可の場合)

※ 特記なき仕様及び緊結方法 (釘打ち方法) は、告示第1540号 (枠組壁工法技術基準) による。

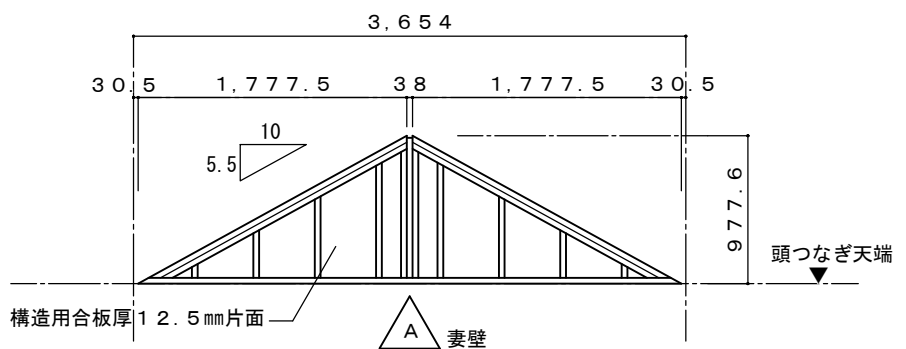


天井伏図

特記なき限り下記による
 樹種
 製材 S.P.F
 KD材 Jグレード 甲種2級

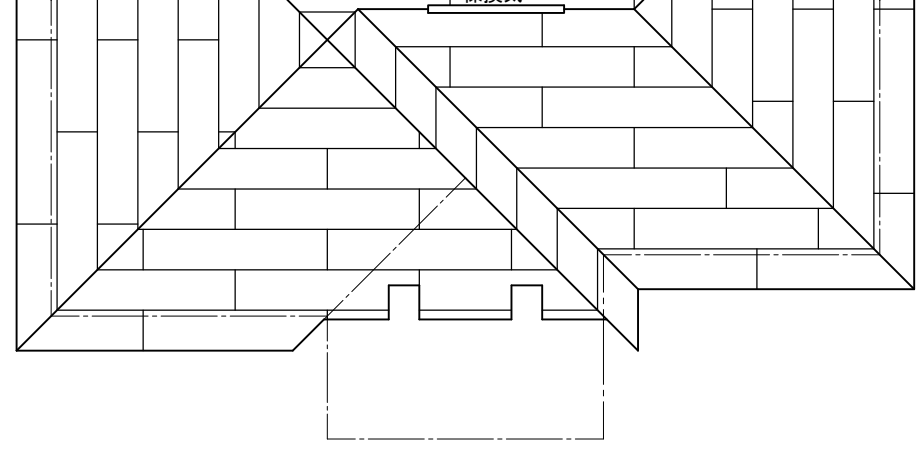
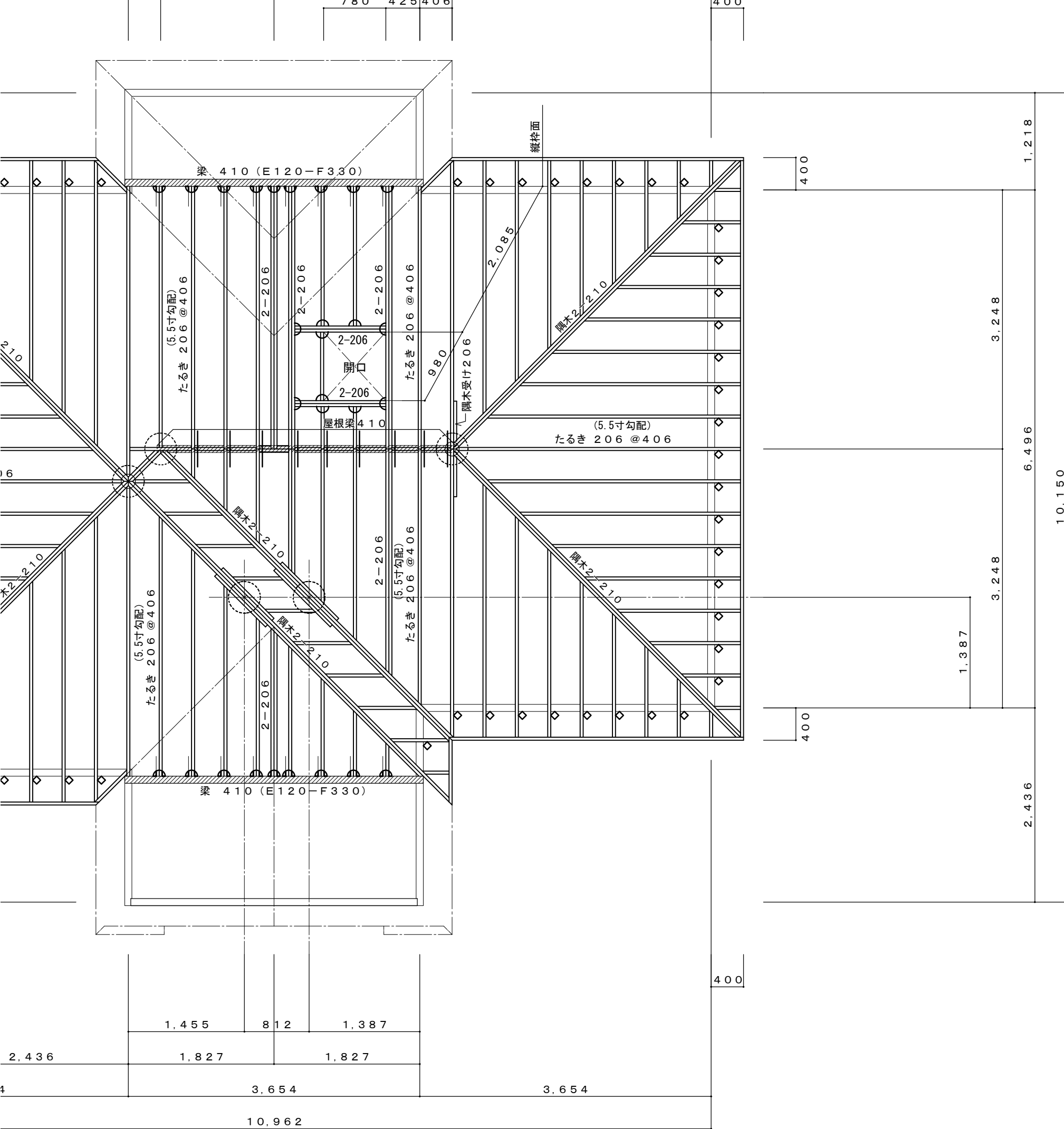
◎	ダウンライト
金物	
	JH206 根太受
	JH2-206 根太受
	BH2-208 天井根太・たるき受
	BH3-208 天井根太・たるき受
	S-45x2 梁の緊結

※ 特記なき仕様及び緊結方法（釘打ち方法）は、告示第1540号（桝組壁工法技術基準）による。



A 妻壁

A 妻壁

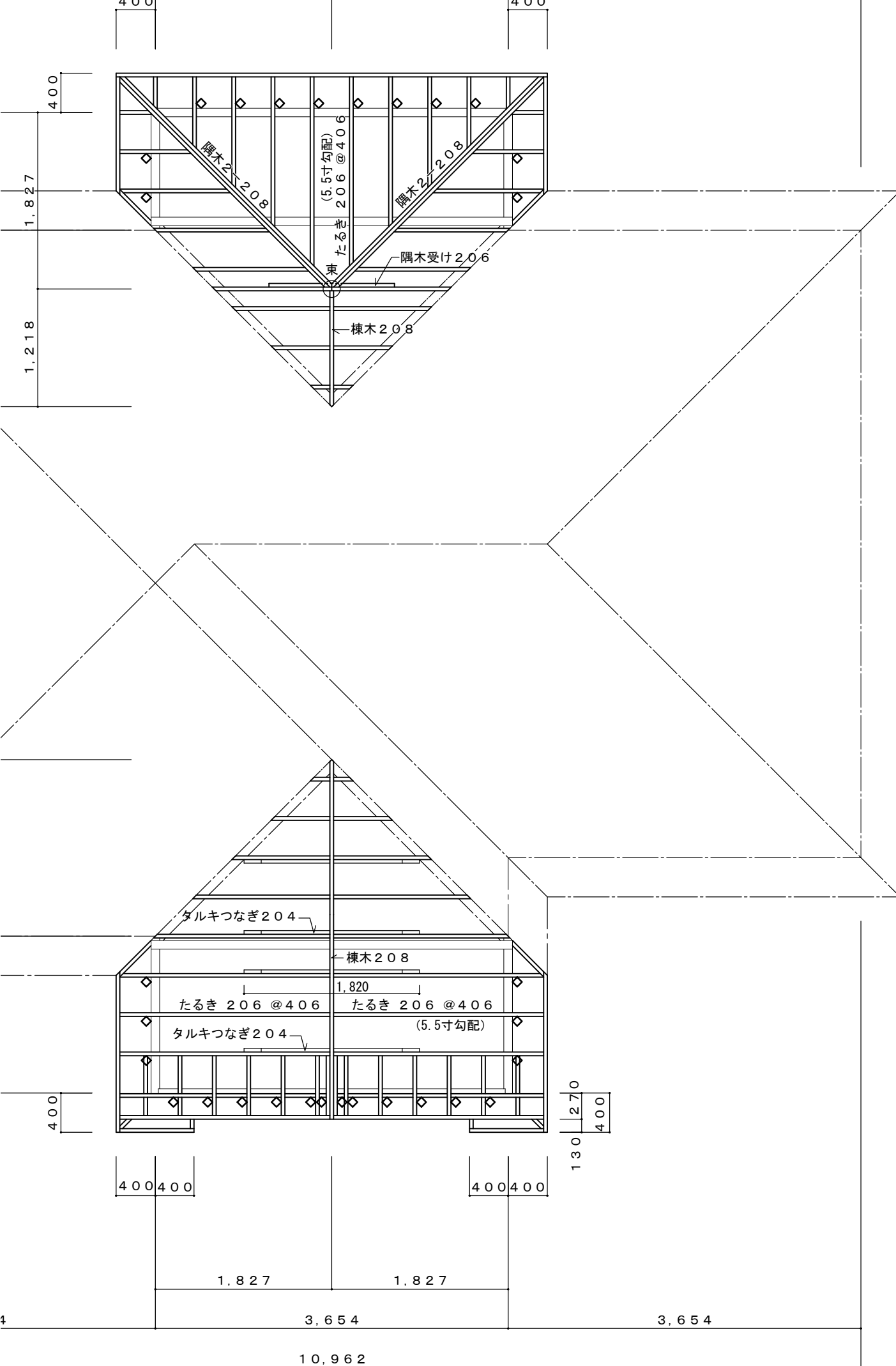


屋根
合板割付図 1/100

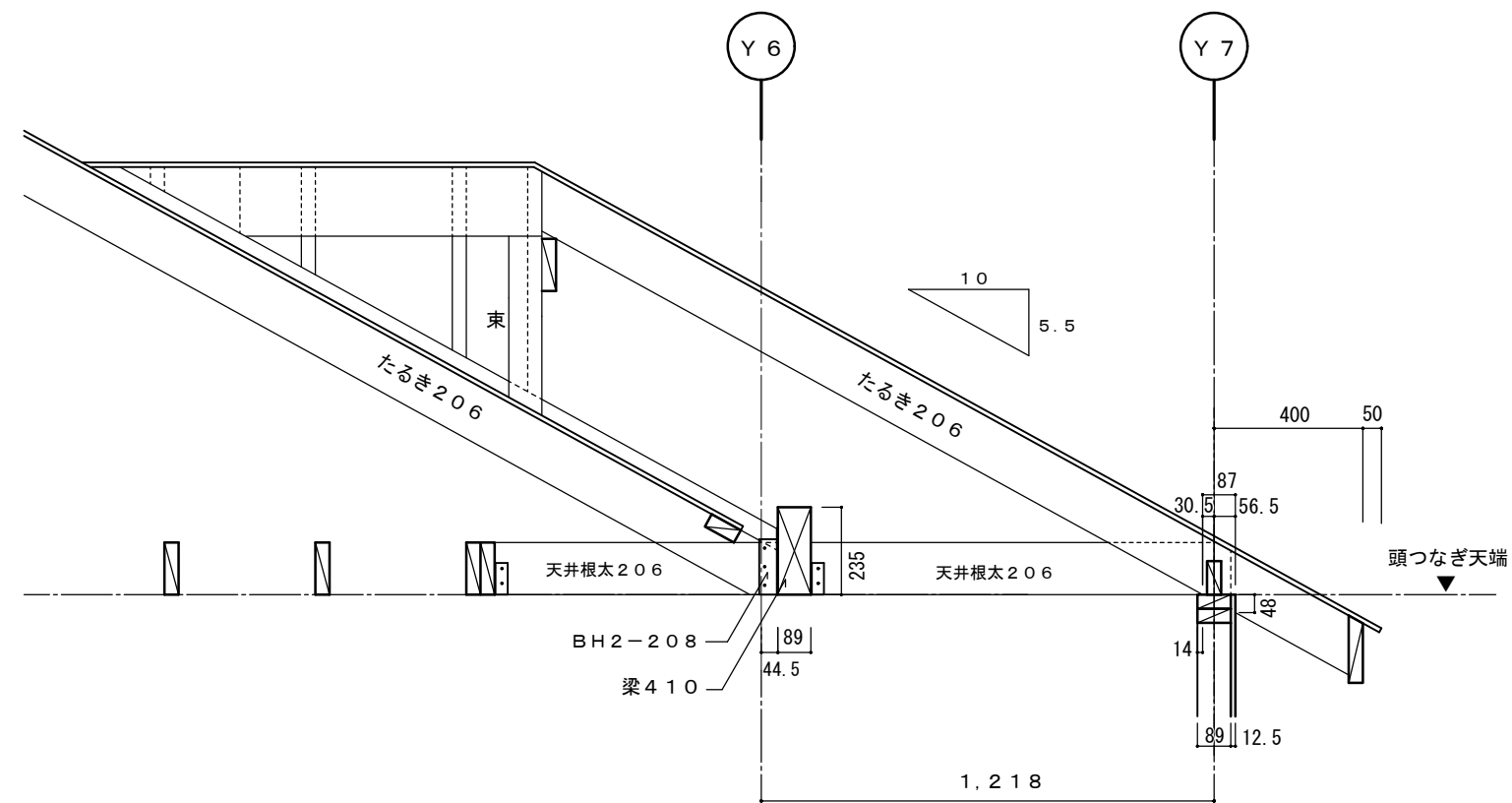
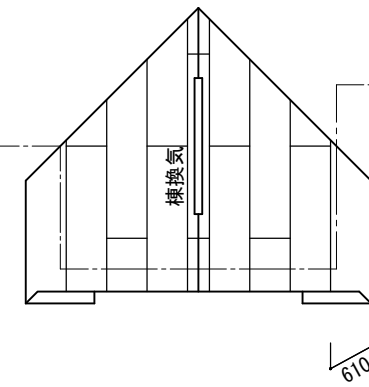
小屋伏図		
特記なき限り下記による		
樹種	S.P.F	
製材	KD材 Jグレード 甲種2級	
構造用合板 t=12.5 さね付 (610×2440)		
釘打	周辺部	CN50@150
	中間部	CN50@300

金物		
◇	TS	たるきと小屋組の緊結
≡	JH206	たるき受
≡	JH2-206	たるき受
≡	BH2-208	天井根太・たるき受
≡	BH3-208	天井根太・たるき受
—	S-45	妻たるきの緊結
○	S-90	棟木と妻タルキの緊結
○		屋根梁支持部分を示す

※ 特記なき仕様及び緊結方法（釘打ち方法）は、告示第1540号（桝組壁工法技術基準）による。



屋根
合板割付図 1/100



小屋伏図

特記なき限り下記による

樹種

製材 S.P.F

KD材 Jグレード 甲種2級

構造用合板 t=12.5 さね付 (610×2440)

釘打 周辺部 CN50@150

中間部 CN50@300

金物

◇	TS	たるきと小屋組の緊結
○	S-90	棟木と妻タルキの緊結

※ 特記なき仕様及び緊結方法(釘打ち方法)は、告示第1540号(梓組壁工法技術基準)による。

備考

工事名称

NO

